

2011. 3. 18 (金) 災害対策本部資料

9時10分～ 打ち合わせ (TV会議システム)

報告事項

1. 学生部

3/17 (木) 22:00 現在の状況

- (1) 土樋キャンパスの宿泊学生9名 (男子5名、女子4名)

近畿日本ツーリスト社員 (青山学院大学 0B) により、ホテルへの宿泊手続きをすすめている。

- (2) 学生安否確認

7,239 名のリストが確認された

2. 多賀城キャンパス

- (1) 避難市民 105 名 (うち本学学生 10 名)

多賀城市より支援物資 (飲料水・コッペパンなど) が届いている

- (2) NTTより非常用電話5台設置 (発信のみ可)

キャンパス内の電話は外線が使えない

- (3) 「TGUキャンパス施設被災特別調査委員会」の設置

理事長・学長の承認があり、活動を開始

- (4) 施設管理者の管理責任について

3/19 (土) ~ 3/21 (月) の3日間のみ施設部長から工学部長に変更してほしい→保留

3. 施設部

- (1) 本日7号館煙突を切断・切除する予定

- (2) 多賀城キャンパスの建物確認→大林組へ依頼

4. 就職部

- (1) 震災当日、公務員講座を行っていたが、参加者全員無事

- (2) 事業所等より、就職関係の問い合わせが多数きている

5. 総務部長

- (1) 災害対策本部室の責任者

9:00~13:00 佐々木哲夫宗教部長 13:00~17:00 斎藤誠副学長

- (2) 災害対策本部室の機能停止日

3/19 (土) ~ 3/21 (月)

停止中の緊急連絡先

柴田副学長
斎藤副学長
日野総務部長



(3) 本学の問い合わせ窓口（4箇所）

災害対策本部室→

入試課 →受験生、新入生、保護者

学生課・教務課→在学生

総務課 →安否確認

(4) 今後の打ち合わせ予定

本日午後の災害対策会議は実施せず。次回打ち合わせは、3/22（火）9：00 に行う。

状況経過

11：30 学院中学・高校の状況報告（永井校長よりTELあり）

- ・生徒 10 名（校舎内 7 名、寄宿舍 3 名）が滞在中
- ・水道は出るようになったが、飲料不可。検査中（3/17 18：00 現在）

11：50 遠藤文学部長よりTELあり

- ・キリスト教学科学生は全員無事（原口学科長より連絡あり）
- ・英文学科の遠藤裕一先生、中西先生は無事

11：55 庶務部長より報告

- ・立教大学の平塚先生（キリスト教同盟理事）より「お見舞いと何かできることはないか」との問い合わせがあった

13：45 総務部長

- ・土樋キャンパス宿泊学生 9 名をホテル宿泊することにした
- ・職員の夜勤務は本日まで行う

15：30 「災害対策本部室の閉鎖」案内 20 枚を正門警備室へお渡し（斎藤副学長）

16：20 3 キャンパス打ち合わせ（TV会議システム）

3/8(金)

16時20分～ 3キャンパス打ち合わせ（TV会議システム）

報告事項

1. 多賀城キャンパス

- (1) 学長、学長室長、宗教部長が視察のため来学した
- (2) 安否確認
学部生 1,326 名、大学院生 41 名、研究生 1 名
教職員は全員無事
- (3) 学内電話の外線使用が可能となった

2. 泉キャンパス

- (1) 立入り禁止の掲示板を設置した
- (2) 安否確認

3. 土樋キャンパス

- (1) 安否確認
 - ・学生 安否確認のメールが約 3,000 通届いており、確認中
 - ・教員 土樋 1 名、泉 7 名が未確認
 - ・職員 全員無事
- (2) 施設部長
 - ・土樋キャンパス 7 号館の煙突を 1/3 撤去した。残り 2/3 は明日行う。施設課職員の宿泊は、本日よりなし。7 号館北側道路の通行止めは明日まで行う。
 - ・多賀城キャンパスのボイラー煙突に亀裂が入り危険。撤去する予定。
- (3) 柴田副学長
 - ・本日 10:30 よりホームページを携帯で見られるようになった
 - ・土樋キャンパス宿泊の学生は今晚まで大学に泊まる。明日以降はホテルに宿泊する
 - ・土樋キャンパス施設の出入りについて、対策本部の判断で短時間限定的に認める場合もあった（3/14～3/21 は不可）。
 - ・学長名でホームページ上に以下の文書を掲載予定
「東北・関東大震災で被災された東北学院関係者の皆様へ」
「東北学院大学の学生のみなさんへ」
 - ・カウンセリングセンター名で、ホームページ上に心的ストレスを受けた学生へ対応する案内を掲載する予定
- (4) 総務部長
 - ・臨時職員・派遣職員について、3 月末まで休み。業務上出勤が必要な場合のみ出勤する

3月22日9時10分～ 3キャンパス打ち合わせ(TV会議システム)

報告事項

1. 多賀城キャンパス

(1) 安否確認 本日午前8時現在

学生 1640名(全体の8割)、大学生67名中58名

研究生全員の無事が確認されている。

連絡のない学生で2名死亡(電気情報工学科)が確認。

遺体は戻って葬儀待ちの状態。

(保護者から連絡があり災害対策本部に連絡したが通じなかったという話があった。)

(2) 多賀城市への支援物質の保管場所として体育館の一部を提供の要請があり、了承して保管している。

(3) 礼拝堂第2会議室の提供を多賀城市から要請され了承した。

(4) Bグラウンドの一角を給水車の中継地として使用することを了承。

(5) 避難所の人数 18日は100名、19日は136名、20日は92名、 21日は95名

(6) 19日老婦人高熱を出し救急車で搬送され治療を受けた。インフルエンザではない。

(7) 仮設トイレに電燈が設置された。

2. 泉キャンパス

(1) 永和台団地の住民に泉キャンパスプールの水を提供していたが、団地で水道が使用可能になったため、今日で終了する予定。

(2) 教養学部学生の安否確認を進めている。対策本部に対し全体のファイルをPDF等で頂きたい。

3. 施設課

(1) 19日 7号館煙突を下に下ろす。

20日 午前中に通行止め解除した。

(2) 警備員室より連絡 連休中4名の教員が引き取ってもらった。対応に問題はなかった。

4. 学生部

- (1) 安否確認の集計終了。8500人分 安全確認済み。
エクセルファイルを泉キャンパス、多賀城キャンパスに送付する。
- (2) 本日よりこちらから電話をかけ安否確認する。
- (3) 多賀城キャンパスへの要望。ファイル送るので、その後の確認できたものをファイルに追加して、1日集計分をこれまでどおり総務課経由で学生課へ送付してほしい。
(多賀城キャンパスでは従来よりそうしていた。)
- (4) 安否のほかに被災情報が入っていれば、分かる範囲で知らせていただけるか？
(多賀城キャンパスでは従来そのような方法は採っていないため難しい)
- (5) 泉キャンパスへの要望。4000名確認できないので、教養学部分についてファイルを送るので教員、事務確認してエクセルファイルに書き込んで返送してほしい。
(泉キャンパス 従来からやっていた。)
- (6) 土樋キャンパスへ要望。 学部長へデータ渡すので、3、4年中心に安否確認してほしい。1、2年は職員がやってほしい。
- (7) 避難所 7人宿泊。24日までには全員移動予定。24日で終了。
- (8) ボランティア 青山学院から話がある。本学も必要と思う。
詳細については本部で相談したい。

○教職員の安否確認済み 全員無事

3/22(火) 3/19(水), 20(木), 21(金) (春分9日)

5. 情報システム課

- (1) テレビ会議の環境整う。
- (2) 1号館 水道使用可能になったので、加湿器の水補給は不要となった。

6. 法科大学院

- (1) 法科大学院協会を仲立ちとして、勉強の環境を他大学の協力要請したい。
- (2) 本日午前より11時研究科委員会を開く

7. 国際交流課

- (1) 19日ニュージーランドへの留学生全員帰国。

8. 就職課

- (1) 内定取り消しが予想されるので、早く対応窓口を開設したい
8号館第一会議室に開設。

9. 入試課

特になし。

10. 教務課

特になし。

他)

- (1) 環境建設学科教員が建物点検特別委員会を立ち上げた。

本日午前中多賀城キャンパス、午後泉キャンパスの建物点検をする。ワゴン車（須田氏運転）で移動。明日は土樋キャンパスの予定。

11. 柴田副学長から

- (1) 緊急事態として対応した事項に漏れがなかったかどうか確認して欲しい。

- (2) 学生安否は本日午後3時会議で発表するため午後2時までに集計結果を送付してほしい。

- (3) 建物調査 一覧表が必要。

12. 学生部長より補足

- (1) 安否確認電話に様々な問い合わせがあり、教務課と学生課情報のホームページ掲載が必要ではないか。（相談窓口を開設することで対応をとる。）

13. 学長室事務課

- (1) 青山学院ボランティア 窓口が阿部重樹先生となっている。

2名の教員が先遣として来る。4月4日に物資を届けたいとのことであった。

（届け先を本部で検討する。宿泊施設も検討。）

15時00分～ 3キャンパス打ち合わせ（TV会議システム）

1. 学長挨拶
2. 理事長挨拶

報告事項

1. 柴田副学長より午前の打ち合わせの報告
2. 教職員安否確認について 全員確認済み
3. 学生部
 - (1) 500名安否確認済み。9000名安全確認済み。
4. 建物安全確認
 - (1) 施設部 3キャンパスの確認している。夕方まで了承をとる予定。
 - (2) 工学部 暫定版の報告所はあさってには出せる予定。
5. 学務部長
 - (1) 卒業式の配布物について、送付するものについて相談したい。
学長に相談して決めたい。資金については財務部長に取り計らってほしい。
(学生部長より 関連して成績優秀者の表彰状 卒業証書と共に渡したいが了承して頂きたい。) (了承)
6. 財務部長
 - (1) 学納金新入学製特例措置 学納金の納入を4月8日まで延期。
 - (2) 教職員出張取り扱いについて (別紙) 泉、多賀城にも送付する予定。
7. 斎藤副学長
 - (1) 承認要望事項 新入生入学延期について
本人の希望により入学を1年延ばす。入学金は来年支払い。
この会での承認頂ければ、明日の常務理事会で議題として提出す予定。
(承認)
8. カウンセリングセンター
 - (1) 先週金曜日 在学生メンタルヘルスについてホームページに掲載した。
 - (2) 3月中は 月、木、金10:00から15時に面談する。ホームページにも掲載済み。
 - (3) 学内避難学生に対してメンタルヘルス実施した。
男子2名(1回ずつ)
教職員のメンタルヘルスも大事では。

9. 就職部

- (1) 3キャンパス学生について 8号館3階第一室に臨時問い合わせ室設置
- (2) 号館は使用可能か？（施設課今日の夕方以降に判明する可能性があり、少々頂きたい。）

10. 情報システム課

- (1) 5号館地下1階のサーバー室の立ち入りも必要なので状況をお知らせ頂きたい。

11. 学長室

- (1) 青山学院のボランティアについて現状受け入れ状況にないとの結論に達した。
阿部重樹先生よりその旨連絡願いたい。
(阿部重樹先生よ 連絡済みだが、青山学院より3月23日または25日塚本、伊藤先生2名を先遣として救援物資を届けたいとの連絡があった。返事を後ほどすると返答した。) → 大学としてお受けするものとする。
関東学院からも同様の申出があった。(学長)

- (2) 本学学生ボランティア派遣について社会福祉協議会と話し合いしたが、現在では協力の必要性はないとのこと。

12. 国際交流

- (1) アーサイナス学長 ホームページにメッセージ掲載。
- (2) トリア大学のホームページにも本学からの学生引き上げの件を掲載。

13. 多賀城キャンパス

- (1) 安否確認情報は後ほど送付する。
- (2) 避難所運営順調。
- (3) 避難所開設期間 多賀城市災害対策本部に相談
多賀城市としては水道復旧にともない、避難所(3箇所)の統合をしたい、水道復旧は4月上旬の見込み。
(学長 多賀城市役所訪問。 本学に対し感謝の意を表された。)

14. 柴田副学長

多賀城市の要請により放置車両撤去について多賀城キャンパス保有の馬場に数千台の放置車両を保管することを検討。

15. 泉キャンパス

- (1) 学生安否について 全体として85パーセント確認済み。
特に人間情報科学専攻は88パーセント確認出来た。
- 2. 新入学生の学生アパートに関する問い合わせ多数有り。

(生協 17、18日連絡している。本日泉キャンパス周辺を見て、仮設事務所立ち上げの交渉中(200名弱へ家探しで困っている状況。)

幹旋再開の案内は大学ホームページでしたい。詳細が決定したら泉キャンパスに連絡する。

16. 卒業生の出資金の払い戻し。(高木部長より)

データ保存のサーバーが使用できるよう、施設部での確認作業を急いでほしい。

17. 法人本部

(1) 榴ヶ岡高校 明日の終業式中止。4月15日に始業式。

(2) 中高からは1時30分からの会議のため、連絡なし。

18. 幼稚園

(1) 卒園式実施の方向で検討中。

19. 柴田副学長補足

(1) 学生ボランティア 学内復旧等で大学がお願いする場合の注意事項を阿部先生に依頼している。本学学生をボランティアとして外部に派遣する場合の取り決めも必要。

時期を待て????

20. 学生部長補足

(1) 安否情報について土樋キャンパスについては1、2年について、職員にお願いしている学部長には3、4年の確認をお願いしたい、リストをお送りするので、それ書き込んで返送願いたい。

他キャンパスは1から4年までの確認を進めていただきたい。

21. 総務部長

(1) 無線班解除。

(2) 職員の勤務について 出勤可能な職員は近くのキャンパスに出勤すること

(3) 臨時、派遣の勤務 出勤可能な職員は各課の必要性に応じて勤務できるよう後ほど課長会で検討する。

明日も9、15時に打ち合わせをすることとする。

2011. 3. 23 (水) 災害対策本部打ち合わせ

9時05分～ 3キャンパス打ち合わせ (TV会議システム)

報告事項

1. 学生部

(1) アークホテルの宿泊学生3名

3/24 (木) にはホテルを出る予定

(2) 学生安否確認 (土樋キャンパス分)

確認数 約 10,000 名

未確認数 約 2,800 名

2. 多賀城キャンパス

(1) 避難市民 90 名宿泊中

(2) 学生安否確認

未確認数 44 名 (機械 12 名、電気 12 名、電子 10 名、環境 10 名)

(3) TGUキャンパス施設被災特別調査委員会

本日 9:00 に多賀城キャンパスを出発、AMに土樋キャンパスの建物を確認する

3. 泉キャンパス

学生安否確認中

4. 情報システム部

各部システムの年次更新について

建物 (5 号館地下) の安全確認および富士通と調整のうえ、作業の準備をする方向

5. 就職部

担当者が 8 号館第一会議室に詰めており、今後の対応について 3 キャンパスで話し合う。

6. 柴田副学長

(1) 建物の検査について

竹中工務店の検査結果と本日実施の「TGUキャンパス施設被災特別調査委員会」の調査結果をあわせて、15:00 から対策会議をおこなう

(2) 3/28 (月) からの建物使用について

通常通り使用する方向ですすめていく (ただし 4 号館・礼拝堂を除く)

(3) 今後の打ち合わせ予定

本日 15:00 に対策会議を行う。

状況経過

9:40 「TGUキャンパス施設被災特別調査委員会」土樋キャンパス災害対策本部到着

16:00 臨時課長会

15時～ 3キャンパス打ち合わせ（TV会議システム）

報告事項

1. 多賀城キャンパス

(1) 学生安否確認

未確認者2名（機械1名、電気1名）

(2) NHKより避難所にテレビが設置された

2. 泉キャンパス

(1) 学生安否確認

2,043名中、97.9%の無事を確認した

(2) 出張についての取り扱いについて

柔軟に対応してほしい→前向きに検討する

3. 学生部

学生安否確認

確認数 10,384名

未確認数 1,833名

4. 学務部

(1) 新年度の単位認定について

文科省のHPより、柔軟に対応して可との掲載があった

(2) 学生へ課題を出している学部・学科へ

学務部長へ連絡してほしい

5. 就職部

学生・事業所への今後の対応について

3/24（木）・3/25（金）は電話対応のみ、3/28（月）より通常通り行う（HPに掲載する）

6. 柴田副学長

(1) 今後についての諸連絡

- ・教職員は 3/24 (木) より現場復帰する
- ・研究室への入室も可 (4 号館以外)。土曜・日曜の入室についても自己責任の上で可。
- ・学生は 3/28 (月) より入校可 (ただし課外活動については、学生部と再度確認する)
- ・災害対策本部室は 3/24 (木) より総務課内に設置する
- ・生協・食堂について、仮の販売を検討中 (厨房等の安全を確認の上で)。

(2) 大学建物の調査結果報告

以下の建物が使用不可 (それ以外のものは使用可)。建物の入室についての情報は、HP・掲示等で全学共通で広報する。使用不可となった「教職課程センター」「広報課」については、早急に対応を検討する。

・土樋キャンパス (竹中工務店)

90 周年記念館 (4F 大ホール)、礼拝堂、4 号館、8 号館 (4・5F)、総合研究棟 (4・5・6F)

・多賀城キャンパス (大林組)

3・4 号館 (屋上)、体育館アリーナ、礼拝堂、工学基礎センター

・泉キャンパス (銭高組)

2 号館 (5・6F)、3 号館 (5・6F)、体育館、管理センター (入口付近が地盤沈下)

7. 庶務部長

事務職員の勤務体制について

- ・災害対策時の特例を適応する
- ・執務時間は当分の間、9:00~17:00
- ・授業開始までの土曜日はお休みとする

6. 学長室長

(1) 復興準備について

学生ボランティアを募り、3/28 (月) より準備を始める (HPに掲載する)

(2) 青山学院大学からのお見舞い

本日、塚本先生、伊藤先生が来学し、救援物資を頂いた。4/4 にも 4 t 分が届く予定 (体育館へ)。救援物資の管理については、学生部長と話し合う。

7. 総務部長

(1) 「復興会議 (仮称)」について

法人本部に設置する、メンバーは理事長に一任。

(2) 今後の打ち合わせについて

3/24 (木) 15:00 に行う

8. 宗教部長

春の「特別伝道礼拝」は中止

3月24日(木) 15:00～

1. 東北学院大学各キャンパスの被災特別調査結果

暫定報告—その1—、並びに最終

委員長 吉田望

〔土樋 柴田副学長〕

昨日、竹中工務店からの報告。キャンパスの建物安全度報告。

吉田先生から被災特別調査結果(最終報告書)を受けた。

内容は、業者とほぼ同じ内容。

全キャンパス調査結果に基づく一覧表は施設課で作成中。

〔斎藤副学長から：HPに掲載する事項〕

・教員：構内への立入りについて

土→①4号館を除き9:00～15:00までキャンパス・研究室への立入り可

3/28～4/1、4/1～4/4の期間に研究室の片付けを願いたい。

片付けの学生ボランティア 本部へ相談

4号館は大学から個別に連絡します。

泉、多→立入りは可能

一部建物内立入り禁止

トイレ使用禁止

研究室の片付け、使用はしばらくお待ちください

・在学生：構内への立入りについて

土 3/28より9:00～17:00 キャンパス立入り可(4号館は禁止)

泉、多 特別な場合を除き、立入りできません。

入構が必要な場合は、正門警備室に相談すること。

〔多賀城からの報告〕遠藤学部長

・9:30 多賀城市災害対策本部(総務部長)と打ち合わせを行った

3/26午前中に避難所を統合する意向。礼拝堂避難所を閉鎖し、他の避難所に統合したい。大学側は了解。

・安否確認：残り2名が安否確認できなかったが、1名(電気3年)の安全が確認

された。津波で流されたが、現在、仙台市立岡田小学校に避難中。

もう1名(機械)は、地震前から音信不通。家族も所在不明だった。

できるだけ確認はしたい。

・安否確認は上記を除き、全て終了した。

・大学院生67名全員の安全が確認された。

〔泉からの報告〕 佐久間学部長

- ・ 安否確認 14:00 2044 名中、未確認 4 名。無事を確認。
大学院人間情報学も全員確認済。
安否確認は未確認 4 名を残し終了。
- ・ ブリッジ教育の問い合わせがあった
教養学部は検討可。窓口を設置いただきたい。
- ・ 泉の情報ネットワークケーブルが断線しているかもしれない。

〔学生部長からの報告〕

- ・ 教養学部 4 名については検討する。
- ・ 12217 名の在籍学生（除籍者、9 月卒者除く）。
- ・ 現状、1170 名の安否が確認されていない。14:00 現在。
- ・ 絞られてきた場合は、避難所等をあたり、詰めていきたい。
- ・ 学内避難所は今日をもって解散した。

〔国際交流部長〕

- ・ 海外送金用の口座が開設された。
- ・ 英語HPで学長挨拶と義援金願を載せたい。
- ・ FaceBook にのせて、義援金のお願いや大学の状況を載せたい。

〔財務部長〕

- ・ 出張の取り扱いについて
→ 12 日以降旅費が支給されていて、出張したい場合。
→ 学長承認の場合、例外として取り扱う。
- ・ 3/28 までに上記以外の方は返金いただきたい。
学部長が教員の出張を把握し、返金は 4 月でもかまわない。
- ・ 委託研究出張で、地震当日だった場合、委託先の了解があれば追加支給する。
- ・ 昨日の常務理事会で個人研究費について承認いただいたので、資料を配布願いたい。

〔施設課長〕 佐藤

- ・ 震災ごみの出し方
 - ① 燃える：コンテナ、カンビン電化製品は入れないように。
 - ② 燃えない：家電、大型、1 辺 80cm を超えるものは、コンテナ脇のフェンスに
持ち込むこと
 - ③ 本、雑誌：シップル館西のプレハブへ
 - ④ 他キャンパスについては、各管財で検討し、周知する。
 - ⑤ 明日午前中までに教職員に周知する（土樋）

〔情報システム課長補佐〕本野

- ・事務システムが立ち上がっている。稼動状況を調査中。
- ・PC等の状況がわかり次第、連絡いただきたい。
- ・泉サーバールームの加湿が下がっているが、様子を見て加湿器の購入、水供給の協力等を依頼したい。(業務用加湿器)

〔学長室長〕佐々木

- ・青山学院からいただいた救援物資の配分について、必要な場所に優先的に配布。
- ・泉は不要。
- ・すべて多賀城に配布する。輸送に関しては、明日青山学院の2名の先生が多賀城を視察するので、同乗の上、多賀城に輸送することになった。
- ・青山の塚本先生を介して、NGOが救援物資を送りたいので、本学キャンパスを使わせていただきたい。灯油 4000ℓ。配分については、相談しながら、NGOに相談する。
- ・阿部重樹(青山塚本)先生、多賀城、学長室で協議し、上記内容を決定したい。

〔教務課長〕丹野

- ・25日8:00~終日、教務システム年次更新。システムが止まります。

〔学務部長〕井上

- ・各学部学科で出している事前課題について、どのような課題で今後どうするのか、問い合わせ先について、できるだけ今日中に学務部長まで連絡いただきたい。
英文学科からは連絡済。
- ・機械。

〔総務部長〕日野

- ・教職課程センターは8号館2階の面談室に移動。
- ・広報課は本館3階学長室長室を当分の間お借りすることとなった。

〔入試部長〕植松

- ・災害対策本部の名称は残すのか？
→今のところ残す、復興対策本部が立ち上がるまで。(総務副学長)
場所は本館会議室。総務課が主となる。

〔総務部長〕

- ・臨時学部長会について、25日17:00から開催する。
- ・明日の連絡会は、15:00。

2. 青山学院から届いた援助物資（3月23日、バン搭載、灯油など）は、
多賀城キャンパスの利用に供するため同キャンパスに運搬。
3. 泉キャンパスの2号間ペントハウスの水槽について
補修を業者に依頼。
寄宿舍の水利は問題なし。
4. 泉キャンパスの歩道、グラウンド等の地番について調査を日本舗道に依頼。

2011. 3. 25 (金) 災害対策本部打ち合わせ

15時～ 3キャンパス打ち合わせ (TV会議システム)

報告事項

1. 多賀城キャンパス

- ・ 学生部長が多賀城キャンパスを視察した。
- ・ 学長室長、青山学院大学の教員及び GEN (NPO 法人) が多賀城キャンパスを視察した。青山学院大学からいただいた支援物資は、1号館第2応接室に保管した。
- ・ 避難所として使用していた礼拝堂は、3/26 (土) に閉鎖し、避難者は多賀城市市民センターに統合する。

2. 泉キャンパス

- ・ 学生安否確認について、未確認の残り4名のうち1名の安否を確認した (残り3名)。

3. 学生部

- ・ 学生安否確認 (14:30 分現在) は、未確認数 624 名となっている。
- ・ 今後、被災地と関連が深い学生のリストを作成し、各避難所を訪問して安否確認を行うことを考えている。
- ・ 多賀城キャンパスの避難所に本学学生が数名いるが、寄宿舍の状況を確認し、そこに入居させられないか検討中である。
- ・ 今後、学生の被災状況を調査することが必要になる。その結果から支援体制を検討する。

4. 学長室

- ・ 青山学院大学及び GEN が来学し、GEN から今後1ヵ月間ほど、支援物資を送られるということで、その保管場所として土樋キャンパス体育館を使用することとした。GEN は石巻市でも活動を行っており、石巻専修大学で野外テントを設置し、ボランティアを募っているということである。
- ・ 午後に多賀城キャンパスを視察した。いただいた灯油 4,000L の取り扱いは、多賀城市と連携して行うこととなった。
- ・ この1～2日にかぎり、灯油の保管場所として本学土樋キャンパスを使用する。
- ・ 社会福祉協議会等からボランティアの要請がきており、学内からもその体制を整備するべきであるという声が上がっている。ボランティアに関する本学の方針等をホームページ等で提示してもらいたい。

5. 施設部

- ・ 3キャンパスの被害状況調査を早急に取りまとめ、会議の場で調査結果を提示したい。

6. 情報システム部

- ・泉のサーバー室の湿度調節のために、泉キャンパスで業務用のスチーム加湿器を発注する。
(施設部了解)
- ・土日の大学閉鎖中における設備の保守のため、泉キャンパス（榴ヶ岡高校含む）のネットワークを停止することとする。榴ヶ岡高校へは別途連絡する。
(災害対策本部了解)

7. 就職部

- ・3/28 から、就職活動中の学生にかぎり、泉キャンパスへの入校を許可する。
(災害対策本部及び教養学部長了解)

8. 同窓会

- ・同窓会に関する連絡手段について、ホームページ等の対応などを、現役以外の方と協力して行うことを検討している。現在、元総務部長の高橋征二氏を考えている。

9. 総務担当副学長

- ・卒業式、入学式が中止になったため、学長告示にあたるようなメッセージを卒業生の目に止まるように、ホームページや新聞への掲載などを検討していただきたい。
(学長了解)

協議事項

(1) 学生部

- ・平成23年度の夜間主コース奨学金について、A日程1名、B日程1名（採用枠2名）を採用することを承認してもらいたい。
(学長了解)

(2) 財務部

- ・学納金の納入締め切りは5/14までとなっているが、学生数の確定ができないこともあり、8/1に延期することを考えている。この件は、理事会での稟議を考えている。

その他（次回の日程等）

- ・3/31（木）10時から学部長会を、同日11時から部長会を行う。それぞれ、新任の部長（工学部長、学務部長）にも参加してもらう。
- ・次回の全学教授会は、4/21（木）に行う。時間及び会場は、あらためて連絡する。
- ・本日17時から、臨時学部長会を行う。

2011. 3. 28 (月) 災害対策本部打ち合わせ

15時～ 3キャンパス打ち合わせ (TV会議システム)

(進行：総務部長)

1. 報告事項

1. 文部科学省の視察について

- ・本日、9時40分から土樋キャンパスで文部科学省の視察が行われた。
- ・文部科学省からは、高等教育局長、同局国立大学法人支援課、私学行政課等4名の役職者が来学した。そのうち、行政課法人係長八木氏は、平成8年度教養学部卒ということである。
- ・学生・教職員の安否確認、建物(3キャンパス)の状況について説明を行った。
- ・大学からの要望を口頭で伝えた。文書は、追って文部科学省へ提出することを伝えてある。

2. 多賀城キャンパス

- ・3月25日に多賀城キャンパスのほとんどの教室、工学基礎教育センターの被災状況を調査し、学務担当副学長、学務部長等に結果を報告している。
- ・3月26日に、礼拝堂の撤収作業を行った。最終的な避難者は約100名で、多賀城市市民センターなどの避難所に移動した。
- ・本日からキャンパスへの入校を許可した。教員は一部の研究室への入校を許可し、学生は、9時から17時にかぎり、正門での許可を得た上で入校させている。

2. 泉キャンパス

- ・本日、工学部教員に1号館、2号館の調査をしてもらった。その結果は工学部長を通して災害対策本部へ通知される。貯水槽については、応急処置を施すことで、4月半ばには利用できるものと考えられる。
- ・本日から学生の入校を許可しているが、就職活動に加え、各種証明書の発行のための入校も許可している。
- ・泉キャンパスのネットワーク関係の復旧作業を行い、現在は通常通り稼働している。
- ・サーバールームの加湿器は、業務用加湿器の調達に時間がかかることが予想される。

3. 学生部

- ・学生安否確認(11時現在)は、11,984名の安否確認が終了し、233名が未確認となっている。現在、各避難所の名簿や死亡者リストとの照合を行っている。
- ・学生支援機構から、緊急奨学金の申し込み受付を始めているという連絡を受けている。ホームページでの周知を図りたい。

4. 施設部

- ・3キャンパスの被災状況結果を配付した。

5. 学長室

- ・学生部長との連名で、「災害ボランティアの募集」に関する文書を作成した。
- ・「災害ボランティア・ステーション」を立ち上げ、ボランティアを希望する学生に登録してもらうこととする。今後、社会福祉協議会とのマッチングを図る。また、学生会常任委員会に、ステーションのスタッフとして動いてもらう。
- ・大学として公認の活動であれば、従来のボランティア保険が適用になる。
- ・個別の教員・学生のボランティアの情報の集約を図りたい。
- ・当面は、土樋・多賀城のステーションを中心に活動を進める。泉キャンパスのステーションは、貯水槽の問題が解決次第、立ち上げる。
- ・他大学からの協力要請についても、ステーションが対応したいと考えている。
- ・3月29日から9時から17時の間で、ステーションの運営を行う。登録した学生・教職員に、さまざまな活動を行ってもらう。
- ・社会福祉協議会から、ボランティアスタッフの駐車場、宿泊場所を設けられないかという申し出があった。期限は決まっていないが、体育館前のスペースなどを考えている。
- ・土樋のステーションは、5月頃までの暫定的な窓口として、8号館3階の教員控室を考えている。
- ・すでに活動を始めている教員やそのゼミ生などは、全体的な活動の把握をするため、一度ステーションに登録してもらうこととする。活動を進めている教職員へ声かけをしてもらいたい。
- ・多賀城キャンパスへのステーション設置は、どのような体制・支援になるのかという質問があり、多賀城キャンパス学生係で学生から申し込みを受け付けることとし、すでに実質的な対応は行っているため、その拡充になるという回答がなされた（中心は、志子田学長室副室長、荒井職員）。

6. 学務担当副学長

- ・3月25日締め切りの入学手続き状況

1. 手続きを完了した者：約2900名
 2. 3月28日以降手続き完了予定者：80名
 3. 入学意思を表明した者：50名
- 合計：約3030名
入学辞退者：10数名

現時点で、3000名ほどが入学の意思を表明している。来年度入学に変更する入学生などを考慮しても、予定していた2950～2960名の入学生は確保できるものと考えている。

- ・新入生に対する財政的な支援は、現行の緊急給付奨学金の拡充に加え、授業料減免措置の基本方針が以下のとおり決まっている。
 1. 主たる家計維持者が死亡または行方不明の場合：授業料1年分免除
 2. 自宅が全壊した場合：授業料後期分を全学免除
 3. 自宅が半壊した場合：授業料後期分を半額免除
 4. 自宅が浸水した場合：見舞金を支給

7. 情報システム部

- ・事務パソコン等の被災状況について、土樋・泉でヒアリングを行っている。両キャンパスのヒアリング終了後、多賀城キャンパスでもヒアリングを行う。

8. 生協

- ・3月29日から、3キャンパス各店に職員が常駐する。
- ・卒業生への出資金返還は、残り2,000名分を郵送あるいは銀行振込で返還する。
- ・卒業式の貸衣装代の返金は、土樋店に来店した学生に行う。
- ・泉キャンパスで、賃貸アパート等の斡旋が可能になる。多賀城でも、賃貸斡旋・安全確認は進んでいる。
- ・泉キャンパスの新入生サポートセンターについては、別途案内する。

9. 入試部

- ・先週、入学手続きを完了した新入生に対して、往復はがきで「入学式中止のお知らせ」を郵送し、安否確認を行っている。

10. 学生部

- ・[REDACTED]が行方不明であるという家族からの連絡があった。

2. 協議事項

- ・なし

3. その他（次回の日程等）

- ・文部科学省から、被災した学生の状況を確認してほしいという要望があった。
- ・次回の災害対策本部打ち合わせは、3月30日10時から行う。

2011. 3. 30 (水) 災害対策本部打ち合わせ

10時～ 3キャンパス打ち合わせ (TV会議システム)

(進行：総務部長)

1. 報告事項

1. 学生部

・学生安否確認

1. 死 亡 者：3名

2. 行方不明者：2名

・29日現在、19名の学生が未確認。なお、今朝2名の確認がとれたため、残りの安否確認は17名である。現在、学生部で確認作業中だが、残り17名の名前をホームページに掲載し、情報を収集したいと考えている。

2. 施設部

- ・昨日から総合研究棟4～6階の危険箇所の撤去作業を進めており、本日5～6階の作業を行う。
- ・本日、多賀城キャンパスで、工学基礎教育センター及び体育館に復旧作業のための足場を設置する予定。
- ・泉キャンパス2号館は、来週はじめてから復旧作業に入る予定。

3. 情報システム部

- ・現在、泉サーバールームの湿度は安定しており、もうしばらく様子を見ることとする。

4. 学長室

- ・昨日ボランティア・ステーションを設置し、これまで30名弱の学生が登録した。また、6～7名の教員が参加している。
- ・学生会が独自に石巻ボランティアセンターのもとで活動していたが、あらためて同センターに学生5名、教員3名を派遣した。
- ・施設課と協力し、大学所有のバス等を緊急車両に準じた取り扱いを行えるように社会福祉協議会と協議をしている。これにより交通費等の問題は対応できるものと思われる。
- ・多賀城市からの要請も別途対応している。
- ・活動する人員への食料などの手配について、高木方角部長及び生協に協力していただきたい。
→協力は可能である。人員、必要な数は今後詰めていく。
- ・ボランティアの要請は、原則としてすべて受け入れるという方針で考えていただきたい。問題が生じたときはその都度対処していきたい。

- ・学長：必要な経費は、学長裁量経費で賄える。両副学長、財務部等と検討していきたい。
- ・バスなど交通手段の確保及び、バスの運転手を出してほしい要望があり、大学として人員を配置していけるような可能性を検討していただきたい。

→バスの運転手を配置する場合は、各課で打ち合わせしながら、負担が集中しないようにしたい。

(学生部長)

- ・ボランティア活動中は、基本的に同行している教員が当該学生の安全を確認する。
- ・大学の保険は適用可能である。
- ・大学として活動するので、地域へのアピールとして大学の作業着（制服）などを出してもよい。

5. 情報システム部

- ・8号館3階教員控室をボランティア・ステーションの事務室にしているが、事務室のネットワーク体系を教育系から事務系への変更を了承願いたい。

(災害対策本部了承)

6. 広報部

- ・広報課の事務室について、早急に対応してもらいたい・
- ・災害復興にばかり目が向いているが、この機会に改革を行ったり、課題を整理したりすることも考えていただきたい。

7. 入試部

- ・入学手続きが完了した者は、2,972名であり、さらに36名が追加される予定である。
- ・4月1日付の人事異動について、6月から異動することだったが、現状復帰も進んでいるため、時期を早めてもよいのではないか。

8. 就職部

- ・内定取り消し、自宅待機、入社日の延期の辞令が相当数出ている。3キャンパスにおけるそれらの数字をとりまとめて、明日の部長会で報告する。
- ・内定取り消しを受けた学生への支援も行わなければならない。去年から行っている既卒者支援を強化したい。内定取り消しを受けた学生に対する、大学としての特別措置について、明日の部長会で提案したい。

9. 財務部

- ・義援金について、平澤大学より200万円を、同窓生より20数万円をいただいた。
- ・現在、義援金受付のための口座の公表について検討も進めている

10. 学務部

- ・泉キャンパス2号館を視察した。5月の授業開始には間に合いそうだが、まだ確認が必要

な箇所はある。

- ・入学予定者から今後の予定について問い合わせがあった。入学予定者に対しては、ホームページなどでの連絡に加え、郵送によるお知らせも必要なのではないだろうか。

1 1. 総務担当副学長

- ・ボランティアの受付は、物事が流動的であるため、受け入れる判断は慎重に行ってもらいたい。本学も被災者であるということを認識して、大学ができることを確認した上で検討してほしい。

1 2. 総務担当副学長

- ・5月の第2週から授業を再開できるよう、準備を進める。その間、1年生のガイダンス、2～4年生の健康診断等の検討を行い、方針が固まり次第連絡していく

1 3. 学長

- ・学事暦について、仙台学長会議として意思統一を行うことが意見として上げられており、本日15時から具体的な協議を行う。ある程度方針が固まり次第、文部科学省に報告する予定。
- ・石巻専修大学の学長と電話で話し合いを行い、多面的な問題について、仙台学長会議として共通の要望書を文部科学省に提出してはどうか、という話をした。

1 4. 施設部

- ・5月9日から授業再開ということだが、施設関係の作業が間に合わない可能性がある。特に、泉キャンパスの地盤の問題、給排水管の確認が取れなければ難しい。施設関係の問題についても考慮していただきたい。

1 5. 多賀城キャンパス

- ・今週から、学生の入校等は規定どおり行っている。しかし、周辺地域は水道・ガスはまだ復旧していない。
- ・3月29日に泉キャンパスの調査を行った。報告書は関係者に送付する。

1 6. 泉キャンパス

- ・授業再開に向けて復旧作業を進めているが、学生の通学が課題である。泉学生係で宮城交通等の交通機関と協議を進めている。

2. 協議事項

- ・学生安否の個人名のホームページ掲載について、了承する。どの程度の情報を公表するか、両副学長と検討する。

3. その他（次回の日程等）

- ・災害対策本部（本館会議室）は本日限りで閉鎖し、業務を総務課に移管する。
- ・3キャンパスのTV会議は、当面の間、定時に行う。両副学長、総務部長、多賀城及び泉は各学部長、各総務部次長が出席し、必要に応じて関連部長も出席することとする。
- ・次回の打ち合わせの日時は、あらためて連絡する。
- ・31日10時から部長会（学長室）を、11時から学部長会（本館会議室）を行う。
- ・各課で、課員の時間外勤務の把握、職員の被災状況を総務課長宛に報告する。

2011. 4. 1 (金) 災害対策に関する打ち合わせ

16時～ 3キャンパス打ち合わせ(TV会議システム)

(進行：総務部長)

1. 報告事項

1. 土樋キャンパス

- ・学生の安否確認が完了し、最終的に死亡3名、行方不明2名という結果であった。

2. 総務担当副学長

- ・本日10時から、新入職員6名の辞令交付を行った。
- ・泉キャンパスに、嘱託職員という形で、電気主任技師が配属された。
- ・多賀城情報システム課に1名、土樋キャンパスに4名の新入職員が配属された。
- ・本日、日本テレビ(NEWS ZERO・24時00分～)の取材があった。就職関係のニュース等を中心に取材を行い、就職部が対応した。

3. 生協

- ・泉キャンパスにおける新入生のアパート斡旋について、新入生や保護者が出入りできない状況にある。生協事務室までの出入りについて配慮をお願いしたい。
→泉キャンパスで検討の上、なるべく入れるようにする。窓口は、土樋は生協専務が行い、泉キャンパスは総務部次長が窓口になる。
保護者同伴の場合、土曜日の開放が望ましい。現状に即した対応をしたい。
- ・全国生協連から、主たる家計者を亡くした学生に見舞金として、学生一人当たり3万の援助が受けられるという連絡を受けている。
- ・扶養者死亡保険に加入している学生に対して、学費を補償する援助が可能になるなど、いくつかの支援制度がある。パンフレットと申込書をセットにして、3キャンパスの学生課に設置し、窓口に来た学生に生協に申し出るよう呼びかけてほしい。
(3キャンパス了解)

4. 総務担当副学長

- ・泉キャンパス1号館2階のカウンセリングセンターを利用できないだろうか。利用可能であれば、本日からカウンセラー2名の増員措置が可能になったので、学生のメンタルケアのために開設したい。センター長からも要望が出ている。
→トイレの問題が解決次第、可能である。仮設トイレでも対応できると思うが、利用する学生の数にもよる。おそらく月曜日から開設できるものと思われる。

5. 総務部長

- ・教職員に対して、震災に向けた基本方針について、メール送信した。教員は、3月中旬の

段階で、届出のあった者に対して送信している。データのみで送信し、紙媒体では発信しない

6. 多賀城キャンパス

- ・ 3月31日にガスが復旧した。
- ・ 4月4日以降、2、3号館を除きトイレが使用可能になる。2号館は簡単な補修で使用可能だが、3号館の復旧には少し時間がかかる。
- ・ 礼拝堂を除くすべての施設で通電を確認した。
- ・ 調査の結果、パイプオルガンはほぼ無傷であった。

7. 泉キャンパス

- ・ 本日11時から、泉キャンパスの教職員で対策委員会を開催した。施設の復旧の見込みについて、4月25日頃には、施設・水道が利用可能になると思われる。
- ・ 本日学務担当副学長に泉キャンパスに来てもらい、給水棟・教室。体育館を視察し、意見交換を行った。

8. 学務担当副学長

- ・ 5月9日に授業を開始するという方針が確定したため、学務部長、学生部長、入試部長、土樋の課長メンバーで、各種の課題を協議した。
- ・ 本日の泉キャンパス視察は非常に有意義だった。多賀城キャンパスでも、同様の視察を行いたい。4月4日10時ころから対応できるだろうか。
(工学部長了解)
- ・ WEB履修システムについて、対応するシステム稼働の準備が不十分であり、また被害状況も不明である。4月5日の会議で代替措置等について協議したい。
- ・ 体育関係の授業について、体育館が使用不可の状況にある。体育が必修である教職課程以外は、休講措置をとってもよいと考えている。次回の会議で協議したい。
- ・ 特に工学部で検討していただきたいのは、新入生オリエンテーションと、2～4年生の成績発表である。前者は4月26～30日を、後者は4月26日を想定している。
重要なのは、場所である。泉キャンパスで行う予定だったものは、土樋キャンパスで行うことになっている。多賀城キャンパス分を、多賀城で行うか、土樋で行うかを考えてほしい。合同で行う場合、それに準じたプログラム編成をする必要がある。多賀城で行う場合、交通機関を考えないといけない。月曜日の打ち合わせまでに検討していただきたい。

2. その他（次回の日程等）

- ・ 広報課の事務室は、総合研究棟1階に移動した。
- ・ 次回の打ち合わせは、4月4日（月）16時に行う。

2011. 4. 4 (月) 災害対策に関する連絡会

16時～ 3キャンパス打ち合わせ (TV会議システム)

(進行: 総務部長)

1. 報告事項

1. 総務担当副学長

- ・新たに判明した施設の被災状況は、以下のとおりである。
 - ・東北学院シーサイドハウス (閑上) は泥の被害が大きく使用不可である。閑上から廃棄処分としてはどうかという申し出があり、承諾した。
 - ・笠神にある野球場関係施設は、泥を取り除けば使用できる。
 - ・石巻のボート艇庫は無傷。
 - ・高山のセミナーハウス跡地は津波の被害が多く、流木等でフェンスが壊れている。
 - ・青根セミナーハウス跡地は無傷。

2. 学務担当副学長

- ・Web 履修システムは、実務者で話し合いを行っているが、4月6日の部長会で、最終的な判断をする。
- ・5月9日に授業を開始する場合、新入生のオリエンテーションを4月末の時点で行うとすると、県外から来る新入生の住宅の心配があった。しかし、生協が窓口になっているアパート斡旋によると、4月下旬に対応できる賃貸契約になっているということである。現時点でアパートが決まっていない学生も、今週末に決まるのではないかと。少なくとも住宅の問題で深刻な問題が生じることはないと思われる。
- ・本日、多賀城キャンパスを視察した。

3. 多賀城キャンパス

- ・電気情報工学科の学生2名が亡くなったため、グループ主任の石川先生が、[REDACTED]の弔問をする。

4. 泉キャンパス

- ・体育館の使用について、体育関係の教員から使用できる見通しをお聞きしたいという要望があった。
 - まだ確認していない。できるかぎり早く回答する。
- ・予算の削減について、人間科学科より、派遣職員の委託費を除くか含めるか (臨時職員か派遣職員か) によって削減率 (10%か20%) が変わるため、基準等について検討していただきたい。
 - 人事課、財務課と相談する。

5. 総務部長

- ・学生ボランティアの関係で、マイクロバスを利用したいという要望があった。現在、大型免許を取得している職員に協力をお願いしている。来週月曜まで協力していただく職員は、以下のとおりである。

火曜：山本（入試課）、水曜：曾根（学生課）、木曜：森川（就職課）、
金曜：山内（泉学生）、月曜：菅井（泉施設）

2. その他（次回の日程等）

- ・次回の連絡会は、4月7日（木）16時から行う。

2011. 4. 6 (水) 災害対策に関する連絡会

16時～ 3キャンパス打ち合わせ (TV会議システム)

(進行：総務部長)

1. 報告事項

1. 総務部長

- ・4月18日の全学の集いについて、教員にメーリングリストで連絡した。また、各教員は最寄りのキャンパスに出てもらうように連絡する旨を再送信している。なお、新任教員は、当該キャンパスに行くことになる。
- ・部長会で学事暦が提出され、承認された。
- ・対策委員会の案件として、石巻地区からのバス運行があり、できる限り実施したいと考えている。オリエンテーション期間中は、石巻から多賀城キャンパスを経由して土樋キャンパスへ向かう。授業期間中は、石巻から多賀城キャンパスを経由し、仙台駅へ向かう。中高からは、さまざまな地域にも経由してほしいという要望があるが、実現は難しい

2. 多賀城キャンパス

- ・食堂が一部復旧した。
- ・グループ主任が弔問した際、見舞金は従来の2万円を支給している。
→学長や財務部から、これとは別に見舞金を出してはどうかという動きがある。詳細が決まったらあらためて連絡する。

3. 泉キャンパス

- ・特になし。

4. 総務担当副学長

- ・震災復旧工事の工程表が提示された。泉キャンパス分は教養学部長が泉へ持っていく。多賀城キャンパス分はすでに届いているが、工学基礎教育センターが入っていないものである。
→最新版が土樋にあるので、速やかに送付する。工事の大部分は授業に間に合う見通しである。
→4号館の復旧について、工程表では5月9日までに直る見通しである。
→今朝、地下鉄が4月29日に全線開通するというニュースがあった。

2. その他 (次回の日程等)

- ・来週以降、部長会・課長会、学部長会が再開するため、この打ち合わせは今回で終了する。